九州地方整備局

国道２２０号法面崩壊について（第７報）

平成24年6月23日　18:00 現在

１．概要（今後の見通し）

○大隅河川国道事務所管内の国道２２０号垂水市牛根境付近にて法面崩落による全面通行止を継続中。

○応急復旧工事の内容は、法面上部の堆積土砂を撤去するとともに、再度の土砂崩落から通行車両の安全を確保するため、延長７０ｍ、高さ５ｍの仮設防護柵を設置するもの。（概要は別紙のとおり）

○本日、午前５時から応急復旧工事を開始し、強い降雨及び土砂崩壊が断続的に続いているため、工事中断を余儀なくされているが、安全を重視し徹底した監視のもと工事を進め、現在、防護柵の立て込み作業中。

○現在までの応急復旧工事の進捗内容等
法面上部に堆積土砂の撤去継続中（無人化施工等）
路面土砂撤去完了（９００m3）、大型土のう完成：１３０袋完成、
Ｈ鋼立て込み：３６本のうち１０本完了
投入している人員：延べ５０名（18:00現在）
投入している資機材：バックホウ：４台、クレーン：２台
ダンプトラック：１０台（延べ２２０台）
大型ブレーカー：２台、トラクターショベル：２台
無人化施工機械：３台、照明車：５台

○明日の復旧を目指し、夜を徹して作業を進める予定であるが、今後の気象状況等により、変更することもあります。

２．体制

九州地方整備局災害対策本部は、 警戒体制　を発令。
○本部体制履歴
・ 6/22　10:45 警戒体制

３．道路

【規制区間の状況】
・ 6/22 10:45　国道220号垂水市牛根境（178k000ﾎﾟｽﾄ付近）において法面崩落による全面通行止を開始
・ 6/23 午前５時から応急復旧工事を開始。

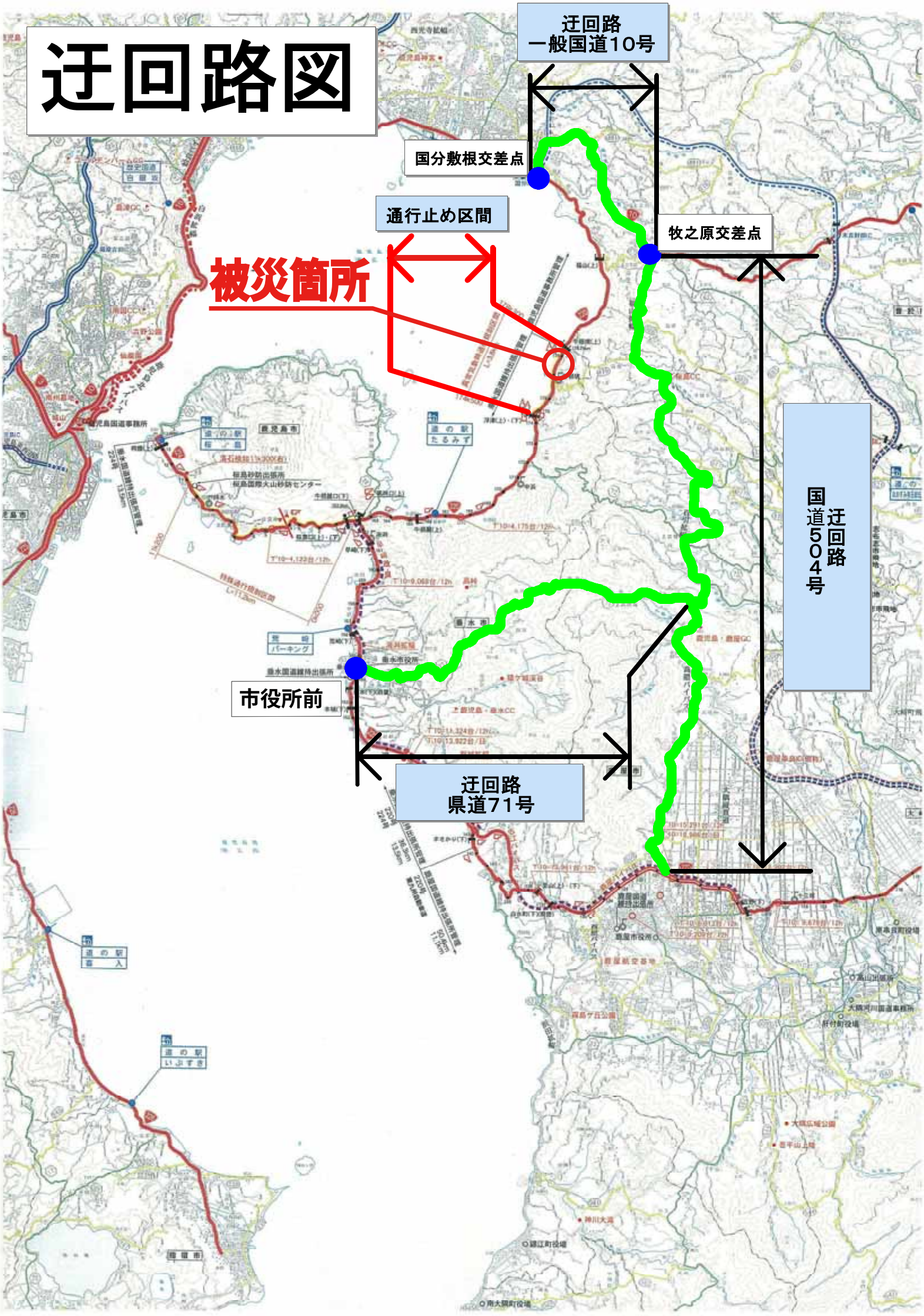
【迂回路の状況】
・ 迂回路については、別添「迂回路図」参照

【対応の状況】
・ 6/22 13:15　TEC-DOCTOR（鹿児島大学 井村准教授）による現地調査を実施
・ 6/22 15:40　無人化施工機械３台を現地に向けて派遣。21:40 ２台着。23:40 １台着
・ 6/22 15:46　防災ヘリコプター（はるかぜ）による上空からの調査を実施
・ 6/22 18:40　照明車２台が現地到着。20:10さらに照明車（カメラ付き）１台が到着
・ 6/22 22:00　待機支援車が現地到着
・ 6/23 05:00　応急復旧工事に着手
・　応急復旧工事状況については、別紙３「復旧工事状況」参照

※下線部は、今回更新情報

【問い合わせ先】
国土交通省　九州地方整備局　災害対策本部
企画部　企画課長　小澤　盛生
電　話:092－414－7301(本部直通)
ＦＡＸ:092－481－9210(本部直通)

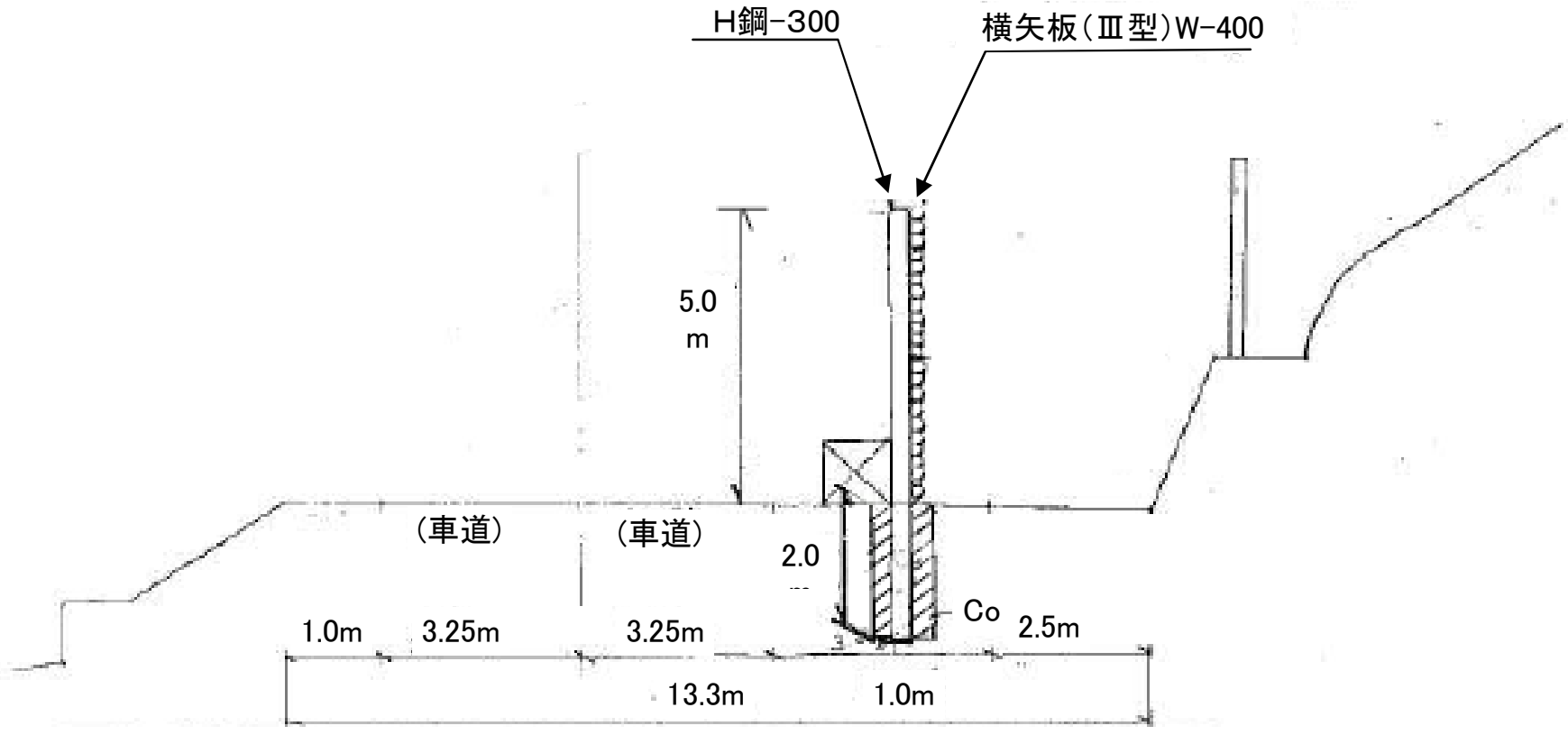
迂回路図


迂回路
一般国道10号
国分敷根交差点
通行止め区間
牧之原交差点
被災箇所
国道504号
迂回路
市役所前
迂回路
県道71号

（別紙）

（別紙2）

横　断　図



仮設防護柵設置概要図

（別紙３）

復旧工事状況

～H鋼の建込作業状況～

平成24年6月23日18時現在